

最高のミュンシャに出会う。



# Alfons Mucha ミュンシャ展

2017.3/8水 - 6/5月

主催：国立新美術館、ブラハ市、ブラハ市立美術館、NHK、国立新美術館開館10周年  
NHKプロモーション、朝日新聞社  
後援：外務省、チェコ共和国大使館、チェコセンター  
協賛：伊藤忠商事株式会社、日本写真印刷 特別協力：堺市  
協力：ルフトハンザ カーゴ AG

新国立新美術館

企画展示室 2E [東京・六本木] KOKURITSU-SHIN-BIJUTSUKAN

Alfons Mucha ミュンシャ展 (展期) '17年 3/8 - 6/5 堺市

☎ 問合せ 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

観覧会ホームページ <http://www.mucha2017.jp/>

たどり着いたのは、故郷への想い。



# Alfons Mucha ミュンシャ展

2017.3/8水 - 6/5月

休館日：毎週火曜日(ただし、5/2[火]は開館) 国立新美術館開館10周年  
開館時間：午前10時-午後6時(毎週金曜日、4/29[土]-  
5/7[日]は午後8時まで) \*入場は閉館の30分前まで

新国立新美術館

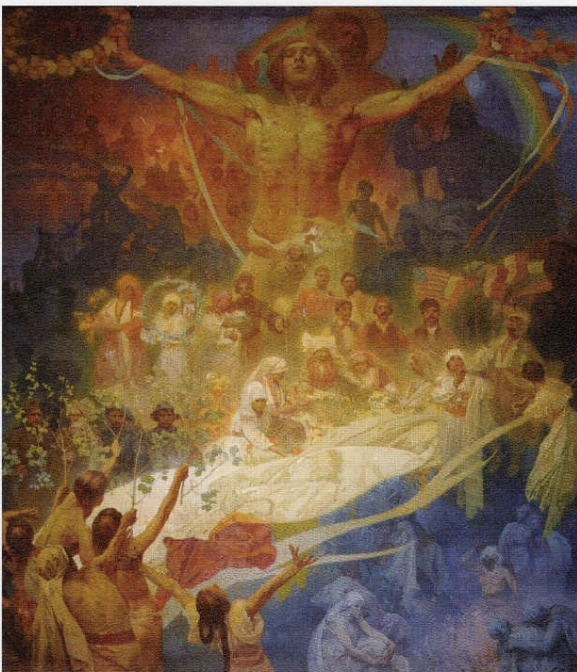
企画展示室 2E [東京・六本木] KOKURITSU-SHIN-BIJUTSUKAN

Alfons Mucha ミュンシャ展 (展期) '17年 3/8 - 6/5 堺市

チエコ国外  
世界初公開

超大作《スラヴ叙事詩》全20作

# ミュシャ史上最大、縦6m×横8mの超大作《スラヴ叙事詩》一挙公開!



## Alfons Mucha

アール・ヌーヴォーを代表する芸術家、アルフォンス・ミュシャ(チェコ語発音ムハ、1860-1939)は、モラヴィア(現在のチェコ共和国)に生まれ、27歳でパリに渡って活躍しました。晩年のミュシャが故郷にもどり、約16年間を捧げた渾身の作品が《スラヴ叙事詩》です。

本展では、このミュシャの幻の超大作を、チェコ国外では初めて全20点公開します。ミュシャの華やかなアール・ヌーヴォー時代の逸品を紹介しつつ、《スラヴ叙事詩》を描くにいたるまでの足跡をたどり、ミュシャの新たな魅力に迫ります。

流麗! アール・ヌーヴォーの逸品も紹介!



### スラヴ叙事詩とは

フランスでの名声を手にしていたミュシャ(ムハ)が、50歳で故郷のチェコに戻り晩年の約16年間を捧げた一大プロジェクトが《スラヴ叙事詩》です。およそ縦6メートル、横8メートルに及ぶ圧倒的な大きさで描かれた20点の作品群は、スラヴ民族の苦難と栄光の歴史を映し出す壮大なスケールであり、完成から80年以上がたった今でもミュシャ史上最大にして最高の傑作と言えます。

ミュシャが描きたかった民族の誇り、故郷への想い



- 1 スラヴ叙事詩「スラヴ民族の賛歌」  
1926年 テンペラ、油彩/カンヴァス 480×405cm  
プラハ市立美術館 ©Prague City Gallery
- 2 スラヴ叙事詩「スラヴ式典礼の導入」  
1912年 テンペラ、油彩/カンヴァス 610×810cm プラハ市立美術館 ©Prague City Gallery
- 3 スラヴ叙事詩「東ローマ皇帝として  
戴冠するセルビア皇帝ステファン・ドゥシャン」  
1923年 テンペラ、油彩/カンヴァス 405×490cm プラハ市立美術館 ©Prague City Gallery
- 4 蛇のプレスレットと指輪  
1899年 金、エナメル、オパール、ダイヤモンド 27.5×6.8cm 堺市
- 5 メディア  
1898年 リトグラフ/紙 207.5×76.5cm 堺市
- 6 ジスモンダ  
1895年 リトグラフ/紙 217.9×75cm 堺市
- 7 第6回全国ソル祭  
1911年 リトグラフ/紙 166.1×80.4cm 堺市

### 記念講演会

3/8水 午後2時~午後3時30分(午後1時30分開場)

ミュシャとムハ、アール・ヌーヴォーから《スラヴ叙事詩》への道

講師 ● グラスタ・チハーコヴァー氏(美術評論家・ミュシャ展共同監修者)

会場 ● 国立新美術館3階講堂(定員260名、先着順)

※聴講は無料ですが、本展の観覧券(半券可)の提示が必要。※内容や日程は都合により変更となる可能性があります。あらかじめご了承ください。

その他、さまざまな関連イベントを予定しております。詳細は決まり次第、展覧会ホームページでお知らせします。

### 音声ガイド

ナビゲーター ● 檀れい[女優]

貸出価格 ● 1台520円(税込)

宝塚歌劇団月組・星組のトップ娘役を務め、映画・テレビ・舞台などで幅広く活躍中の檀れいさん。力強く、透き通った檀れいさんの魅力を引き出した、一味違った音声ガイドをお届けします。



観覧料(税込)	当日券	前売券/団体券
一般	1,600円	1,400円
大学生	1,200円	1,000円
高校生	800円	600円

チケット取り扱い ● 国立新美術館(ペアチケット・セット観覧券除く)、展覧会ホームページ、チケットぴあ[Pコード:767-931]、ローソンチケット[Lコード:38800]、セブンイレブン[セブンコード:049-880]、イープラスほか主要プレイガイド ※手数料がかかる場合がございます

国立新美術館 企画展示室2E 〒106-8558 東京都港区六本木7-22-2 <http://www.nact.jp/>

交通案内 ● 東京メトロ千代田線乃木坂駅 青山公園方面改札 6出口(美術館直結) ● 都営地下鉄大江戸線六本木駅 7出口から徒歩約4分 ● 東京メトロ日比谷線六本木駅 4a出口から徒歩約5分

- 団体は20名以上 ● 中学生以下無料
- 障がい者手帳をお持ちの方で付き添いの方1名は無料
- 3月18日(土)~20日(月)祝は高校生無料観覧日(学生証の提示が必要)
- 「ミュシャ展」草間彌生 わが永遠の魂」セット観覧券(2,400円)は2016年11月2日(水)から2017年2月21日(火)まで販売
- 前売券は、2016年11月2日(水)から2017年3月7日(火)まで販売
- ※国立新美術館では3月6日(月)まで

